

問題を解くために

- 1 ① スコットからのメールを読み、全体の大まかな内容をとらえる
② 必要な情報を取り出すために、疑問文や want to ～の表現などに注目しながら読む
- 2 ① 自分の生活や学校の様子などを考え、どんなアドバイスをするかを考える
② can, must, will, have to などの表現を用いて、アドバイスや理由を表現する

正 答 例

1

- ① スコットがしたいと思っていること
 - ・日本の生徒とラグビーがしたい。
 - ・温泉に入りたい。
- ② スコットが知りたいと思っていること
 - ・学校に給食はあるか。弁当を作ってもいいか。
 - ・学校へはどうやっていくのか。

2

例1) 料理・給食について

- ・ We have school lunch.
You don't have to make your lunch.
- ・ You must eat school lunch.
You can cook for us at home.

例2) 通学について

- ・ You have to walk to school with me.
- ・ You can go to school by bike.
- ・ We are going to go to school by bus.

例3) 温泉について

- ・ You can enjoy a hot spa.
But you mustn't wear your bathing suit.
- ・ You don't have to bring your bathing suit. You can't wear it in the spa.

STEP UP

相手の行動を促す時の表現として、助動詞やhave to などが有効です。例えば、「水着を持ってこなくてよい」ことを伝えるときに、以下のような順番で相手に伝わる強さが変わります。
Don't bring your bathing suits. (命令) ➤ You mustn't bring ～. (禁止) ➤ You can't bring ～. (不許可) ➤ You don't have to bring ～. (不必要) など

解 説

1

- ① したいと思っていること
 - ・ I want to play rugby with Japanese students. (4行目)
 - ・ I really want to enjoy a *hot spa in Japan. (10行目)
- ② 知りたいと思っていること
 - ・ Do you have school lunch? (4行目)
 - ・ Can I make my lunch in Japan, too? (4行目)
 - ・ How can I go to school? (10行目)

2 条件①：メールの返事

スコットがしたいことや知りたいと思っていることを話題にしましょう。

条件②：アドバイス

助動詞や have to ～を使うことで。

★ have to + 動詞の原形
(～しなければならない)

don't have to + 動詞の原形
(～しなくてもよい)

助動詞 + 動詞の原形 ➔ Unit 4

must (～しなければならない)

mustn't (～してはいけない)

may (～してもよい)

may not (～してはいけない)

will (～するだろう、～しよう)

won't (～しないだろう、～すまい)

can (～できる、～してもよい)

can't (～できない、～してはならない)